

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	社会福祉法人ライフサポート協会じらふ長居				公表日	2026年3月4日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	PECS（絵カード交換式コミュニケーションシステム）**や写真、絵カードを積極的に活用し、視覚的な補助を行うことで、お子様が発見的に活動を選び、見通しを持って過ごせる環境を整えています。	トイレ付近の動線に死角があり、お子様同士が衝突するリスクがあるとの指摘を保護者より受けています。今後は安全確認できるよう職員の配置を再検討し、安全性を強化します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	玩具の配置を分かりやすく整理し、活動に合わせた専用の部屋を設けるなど、お子様が集中して活動に取り組めるよう環境を工夫しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		現在、第三者による外部評価は行っておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	領域（健康・生活・運動・感覚・認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性）**に基づいた包括的なアセスメントを行い、個々のニーズに応じた「オーダーメイドの支援」を徹底しています	保護者の悩みに対し、共感だけでなく、より具体的に家庭でも取り入れやすい助言（5領域に基づく提案）ができるよう、支援の質をさらに高める必要があります
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	プログラムが固定化されないよう、「遊び」を通じた豊かな感性と創造性の育成に重点を置き、毎回新鮮な気持ちで取り組める創意工夫を継続しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しし必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1		現在、施設外での活動機会は設けておりませんが、地域との繋がりは大切に考えております。代わりの取り組みとして、月1回の「子育て広場」や、ご兄弟も参加できる不定期イベントを開催し、交流できる場を提供しています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	LINEを活用した迅速な連絡体制を構築しており、日々の状況報告や悩み相談に丁寧に対応することで、保護者との密な情報共有と信頼関係の構築に努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		職員の経験や専門性の違いもあるため、事業所内での勉強会を重ね、チームとして一貫性のある専門的なアドバイスができるよう平準化を図ります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	0	月1回のオンライン懇親会や保護者交流会を通じて、専門的な知識の共有や交流の場を提供しています。また不定期ですが、きょうだいのも一緒に参加できる企画を開催しています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	年2回の避難訓練を実施し、安全確保に努めています。また、安全計画についてはLINE公式のリッチメニューからいつでも確認できる体制をとっています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1		毎年BCPを用いて非常災害発生時の訓練を行っています。訓練の様子などをSNSやホームページなどで公開できるよう努めます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 じらふ長居

公表日 2026年3月4日

利用児童数 48

回収数 29

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	2	0	0	実際に利用させてもらって子供の様子を見てスペースは確保されているように見えますそれぞれの児童たちがスペースを確保できる様に療育を受ける人数が決まっているかと思うので、特に気になることはございませんでした。親としても子供の活動を見れるように配慮されていたと感じます。他の方の声で療育内容が聞きにくい時があります。仕方ないことは思うのですが。	当日の参加人数や療育内容を調整しながら、仕切りの工夫や活動スペースの配置を見直しを検討します。また、必要に応じて個別の部屋や場所を使用しながら療育を実施しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	29	0	0	0	トラブルになりそうな時でも、しっかりと人数を確保されて配置されているので、安心して目を離されます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	1	0	0	実際、子供自身が迷ってしまう様子がないので、配慮され構造化された工夫がされてると感じます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	28	1	0	0	私自身、環境を整えるのが大事だと早くに気が付き整理収納アドバイザーの資格を取りました。実際にオンラインで仕事も入り動いてます。実際に自宅での環境を整えている方だと思わずに理解が分ならず、子供に聞きながら少し覚えたりして過ごしています。実は、じらふさんの工夫も取り入れています。いつか、そのうちに実際に自宅を見に来て欲しいと希望します。とても清掃等行き違っているという印象でした。トイレは利用したことがないが、学校のトイレというイメージがあって使うのをためらう場面もあった。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	1	0	0	じらふさんでは、受けられてると感じます。こどもの特性に合わせて指導してくださり、面談時にこうすると良いですといった親へのアドバイスの確度とてもためになりました。利用者のお話しする方に気がいきがちな感じは少しあります。	5領域（健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性）に基づく包括的なアセスメントを今後も徹底し、個々のニーズに応じた「オーダーメイドの支援」を継続します。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	1	0	0	保護者が言語化できていない事や、困り事の根本を見抜いていただき、そうか！と納得する事が多かったです。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	0	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	1	0	1	毎回いろんなプログラムに取り組み、いろんな角度から取り組む事ができたと思います。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	4	8	8	夏祭りのご案内を頂き行くと地域の活動でした。必要性を感じない	現在、施設外での活動機会は設けておりませんが、地域との繋がりは大切に考えております。代わりの取り組みとして、月1回の「子育て広場」や、ご兄弟も参加できる不定期イベントを開催し、交流できる場を提供しています。また、法人内の別事業所からの地域イベントなどのお知らせも、みなさまに共有させていただいております。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	0	0	0	保護者のヒアリングの後、その保護者の思いも汲みながら計画された支援内容でした。適宜面談時に状況や進捗等の共有があったと感じております。親が置いてけぼりになる様な事もなく、一緒にこどもの支援をしていく計画だったなと感じます。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	28	0	0	1	また、何度も受けてみたいと思っています。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	29	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	0	0	0	いつも、相談させていただくたびに、必ずアドバイスを頂くので、本当に助かっています。通所の時に毎回面談をしていただきました。面談時に毎度相談させていただき、その度に適切なアドバイスがありました。ありがとうございます。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	0	0	0	こどもを否定する事無く、小さなことでもできたことに対して褒めて成功体験を積ませるという姿勢を感じ、親としても非常に学びになりました。	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	23	1	0	5	適宜LINEで案内の配信がありました。生憎、イベントには参加できずだったので、わからないと回答しました。	毎月末にオンライン懇親会を開催しています。不定期ですが、長期休暇にきょうだい児も参加できるお茶会イベントも実施しています。	

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	0	0	0	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	0	0	0	子どもへ伝える言葉、タイミングをちゃんと考えられて対応されている事がよく分かりました。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28	0	0	1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	0	0	0	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	0	0	6	LINE公式のリッチメニュー内に安全計画を掲載しております。また訓練の様子をSNSにて発信させていただいております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	3	0	13	年二回の避難訓練や避難経路の確認、その他適宜訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	0	0	2	LINE公式のリッチメニュー内に安全計画を掲載しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	2	0	11	親子で通所していただいている為、その場ですぐに説明と対応をさせていただいております。お子様の前で話にくいなどがあれば、別途時間を設けお電話やLINEにてお伝えさせていただいております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29	0	0	0	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	2	0	1	次療育行くの？と毎度楽しみにしており、療育後も楽しかったわーといつも言っていました。卒業後も療育行ける？と楽しみにしています。大好きな様です
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	0	0	0	いつも寄り添い、的確にアドバイスも頂き心強いです。まずは一年間ありがとうございました。親としても療育でこういった成長が見られるのか不安と期待が当初ありましたが、この一年でとても成長した様に感じます。卒業後も定期的にじらふっこを利用しながら、子どもが社会で前向きに自分らしく生きていける様に支援いただけますと幸いです。ありがとうございます！大変満足しています！

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	じらふ長居		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日		2026年 1月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49 (回答者数)	29
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		2026年 1月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高い個別支援と的確な助言	個々の特性に応じた支援を提供。面談時には保護者の話を聞き取り整理しながら解決案と一緒に模索できるようサポートしています。	包括的アセスメントの継続: 5領域(健康・生活・運動・感覚・認知・行動・言語・コミュニケーション・人間関係・社会性)に基づくアセスメントを徹底し、「オーダーメイドの支援」を継続します。
2	共感的な支援姿勢	子どもを否定せず、小さな「できた」を褒めて成功体験を積ませる姿勢心がけています。	親子通所を活かした即時フィードバック: 親子通所の利点を活かし、その場ですぐに子どもの成長や適切な対応について保護者へ説明・共有を行います。お子様の前で話にくい内容がある場合は、別途電話やLINEを活用するなど、子どもの自尊心を守りながら保護者との連携をとれるよう努めます。
3	家族支援と情報共有の充実	LINEを活用した情報発信、オンライン懇親会の開催、きょうだい児も参加できるイベントの実施など、家族全体を支える取り組みを行っています。	家族支援の強みを活かし、施設外活動の代替案として、月1回の「子育て広場」や不定期のきょうだい参加イベントを継続し、地域や他者との交流の場をより充実できるよう検討します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育内容が周囲の音で聞き取りにくい時がある	限られたスペースの中で複数の児童が活動しており、活動内容や人数によっては、声や音が干渉しやすい環境にあることが要因と考えられます。	当日の参加人数や療育内容に合わせて、仕切りの工夫や活動スペースの配置を見直します。また、より集中が必要な場面では、個別の部屋や場所を柔軟に使用することで、音環境を調整できるよう検討します。
2	放課後児童クラブや地域の子どもたちと直接交流する機会が十分に設けられていない	現在、安全面やプログラムの構成上、施設外での活動機会を設けていないことが直接的な要因です。	施設外活動の代替案として、月1回の「子育て広場」や、きょうだい児も参加できる不定期イベントを継続していきます。
3	避難訓練の実施状況や安全確保のための計画について、情報が十分に浸透していない	年2回の避難訓練などは実施しているものの、その具体的な内容や計画の存在について、保護者への積極的な可視化・共有が不足していたことが要因と考えられます。	LINE公式アカウントのリッチメニュー内に安全計画を常時掲載し、いつでも閲覧できる状態を整えます。また、避難訓練の様子をSNSで発信することで、取組を可視化し、保護者が安心感を持って通所させられるよう周知を徹底します。